

事務事業チェックシート

事務事業No 90 事業名 特定健康診査等事業（メタボリックシンドロームに着目した健診）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	国民健康保険事業特別会計		
	款	保健事業費		
	項	特定健康診査等事業費		
	目	特定健康診査等事業費		
	大事業	特定健康診査等事業		
	事項	特定健康診査等事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	4	社会保障制度の充実
施策	1	社会保障制度の充実
基本方針	3	国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度の適正な運営

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律第20条		
関連個別計画	特定健康診査等実施計画		
担当課・担当課長 (Tel)	国保年金課	沖 重樹	(435-1057)
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
40～74歳の被保険者を対象に特定健康診査を実施することにより、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の者を早期に発見し、生活習慣病予防のための保健指導につなげる。	生活習慣の変化等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の該当者及び予備群が増加していることから、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査を実施している。受診率向上のため、平成22年度から検査項目の充実と自己負担金を無料にした。対象者全員に「受診券」を同封した健診案内を送付し、健診の受診を勧奨。市内255か所の医療機関と委託契約を行い健診を実施。医療機関は、月々の請求書と共に検査結果データを市へ提出し、それらを確認した上で費用を支払う。受診率向上のため、広報活動にも力を入れると共に、受診勧奨ハガキや電話等で受診を促している。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	340,525	289,649	329,906	277,434	323,602	273,229	322,883		322,883	
伸び率 (%)	-	-	-3.1%		-1.9%		-0.2%		0.0%	
人件費	常勤職員	13,119	15,078	14,730	13,612	16,019	15,904	15,816	15,816	
	非常勤職員	1,052	544	603	615	400	375	375	375	
	小計	14,171	15,622	15,333	14,227	16,419	16,279	16,191	16,191	
国庫支出金	54,337	51,597	52,489	51,955	56,571	53,125	56,656		56,656	
県支出金	95,204	104,397	94,729	117,177	109,080	114,529	107,694		107,694	
市債										
その他	190,984	132,795	182,688	108,302	157,951	105,575	158,533		158,533	
一般財源（税等）		860								
所要人数	常勤職員	1.77	2.02	1.97	1.79	2.11	2.14	2.13	2.13	
	非常勤職員	0.52	0.29	0.29	0.29	0.19	0.19	0.19	0.19	
主な予算内訳	特定健康診査委託料298,806千円 電算共同処理等委託料7,153千円 手数料（医師会パンチ料）6,281千円 通信運搬費6,064千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	受診券送付数	年度目標値							
		実績値	74,438	74,324	73,603				
	単位	通	全体目標値		全体目標達成度				
	年度別達成度								
受診勧奨ハガキの送付数	年度目標値								
		実績値	41,097	13,309	36,171				
	単位	通	全体目標値		全体目標達成度				
	年度別達成度								
成果指標	特定健康診査受診率	年度目標値	40	45	50	55	60		
		実績値	35.7	33.3	32.9				
	単位	%	全体目標値	60	全体目標達成度	54.8%			
	年度別達成度	89.3%	74.0%	65.8%					
		年度目標値							
		実績値							
		単位	全体目標値		全体目標達成度				
		年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>特定健康診査を受けることにより、健康への意識づけができ、高血圧・脂質異常・高血糖などのリスクの減少及び疾病の早期発見・早期治療により重症化予防につながることから、中長期的に医療費の適正化に寄与する。平成22年度は、自己負担金の無料化・検査項目の追加・受診期間の延長を行い、平成23年度は、集団健診の回数を増やした。平成24年度からは、未受診者に対して受診勧奨はがきを送付し、路線バス側面大型広告の掲示など広報活動にも力を入れ、年々成果を上げてきているので、現状の手段を継続していく。平成25年度は、特定健診・保健指導分析ソフトを新たに導入し、個人帳票作成事務の簡素化を図るなど、より効率的・効果的な取り組みを目指す。</p>
「見直し」 「改善」案	